

世界・日本・沖縄県経済の動向

2020年11月
日本銀行 那覇支店

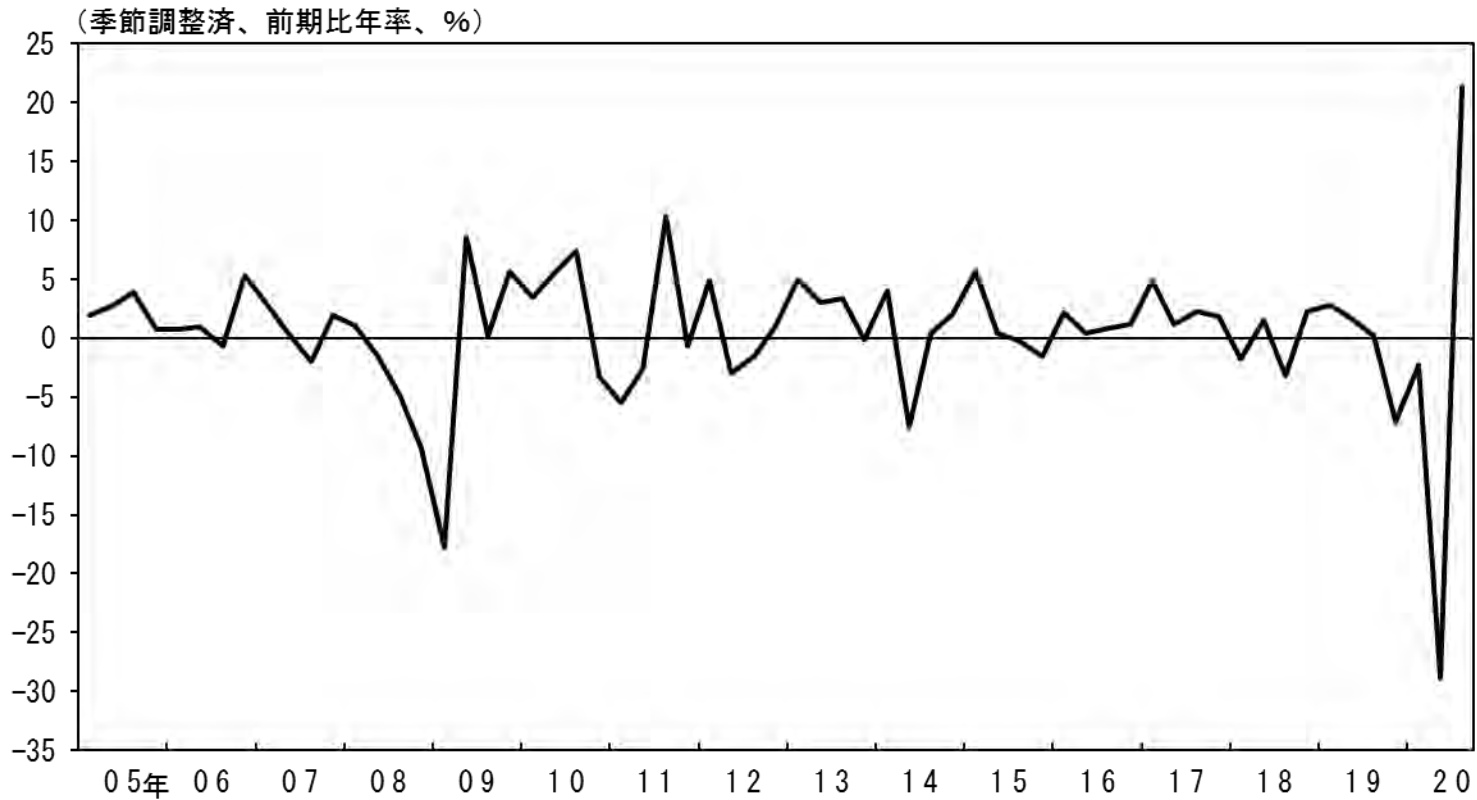
世界經濟

掲載省略

日本經濟

実質GDP

実質GDPの伸び率



(出所) 内閣府

実質GDP

需要項目別の動向

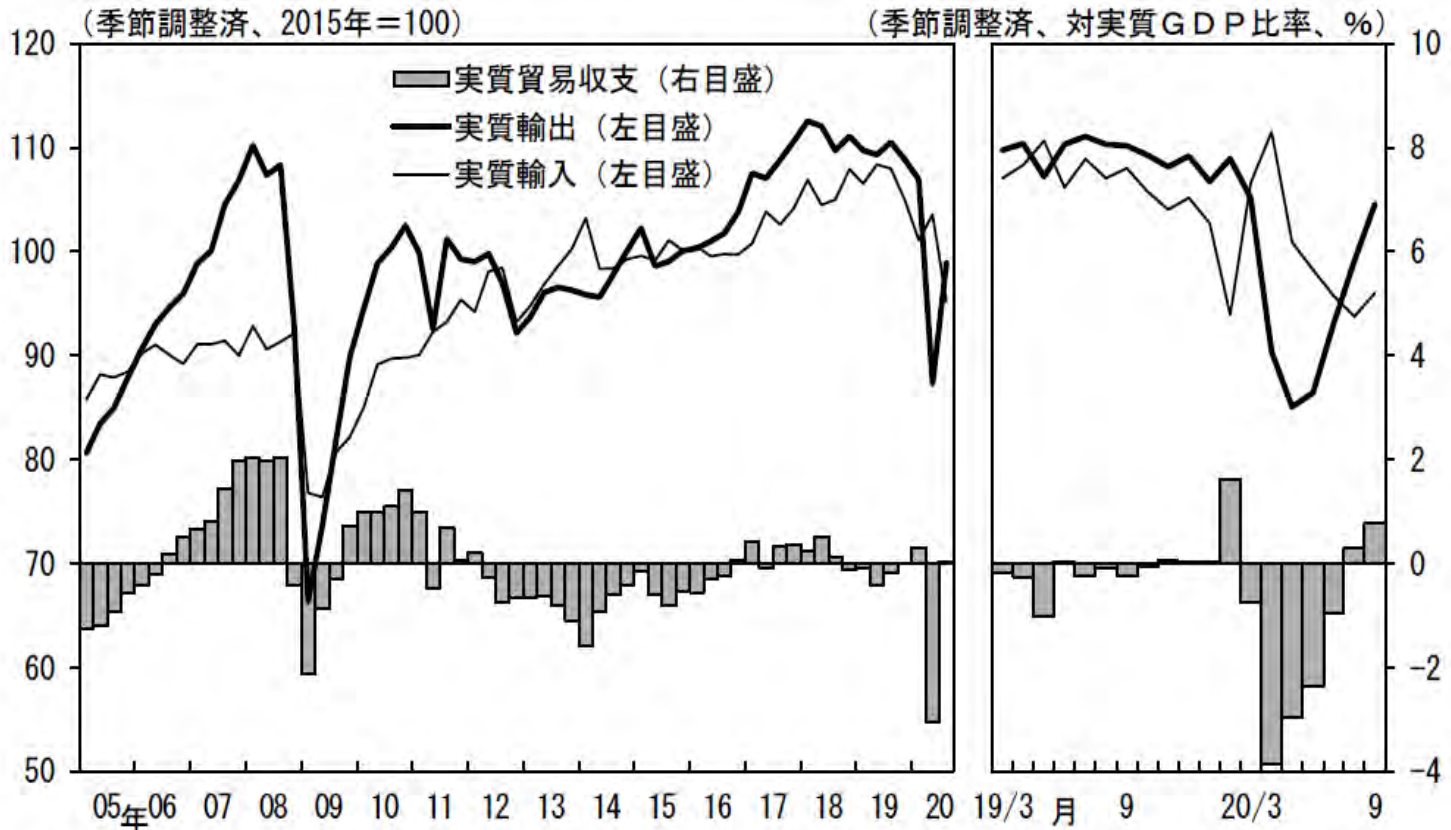
(季節調整済、前期比、内訳は寄与度、%)

	2019年		2020年		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実質GDP	0.0	-1.8	-0.6	-8.2	5.0
[前期比年率]	[0.2]	[-7.1]	[-2.3]	[-28.8]	[21.4]
国内需要	0.3	-2.3	-0.3	-4.9	2.1
民間需要	0.1	-2.4	-0.3	-4.8	1.5
民間最終消費支出	0.2	-1.6	-0.4	-4.4	2.6
民間企業設備	0.0	-0.8	0.3	-0.7	-0.6
民間住宅	0.0	-0.1	-0.1	-0.0	-0.3
民間在庫変動	-0.2	0.0	-0.1	0.3	-0.2
公的需要	0.2	0.1	-0.0	-0.0	0.5
公的固定資本形成	0.0	0.0	-0.0	0.1	0.0
政府最終消費支出	0.2	0.1	0.0	-0.1	0.5
純輸出	-0.2	0.5	-0.2	-3.3	2.9
輸出	-0.1	0.1	-0.9	-2.9	1.1
輸入	-0.1	0.4	0.7	-0.4	1.8
名目GDP	0.4	-1.5	-0.4	-7.8	5.2

(出所) 内閣府

輸出

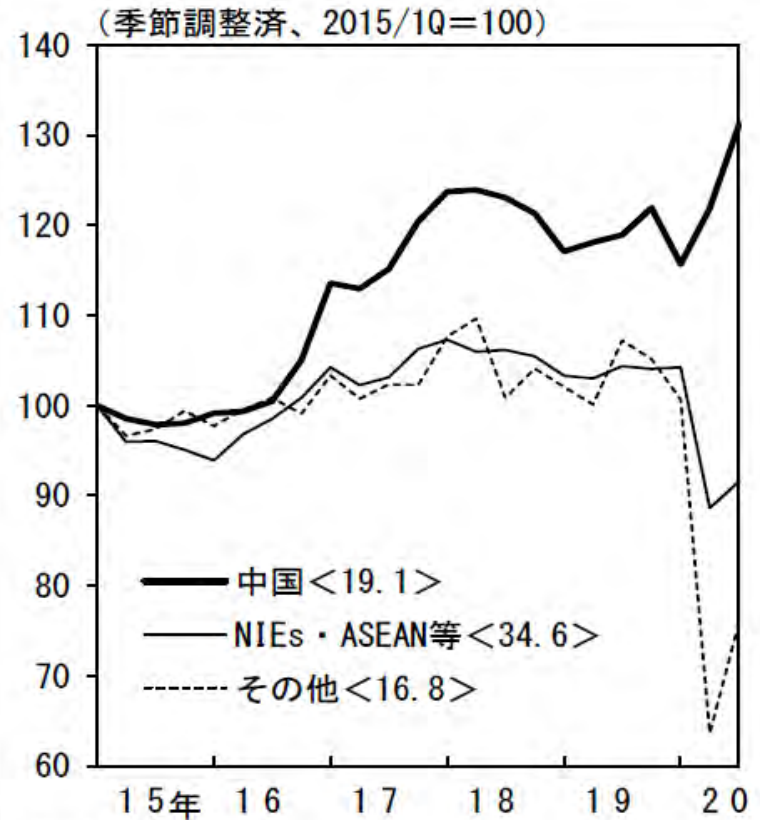
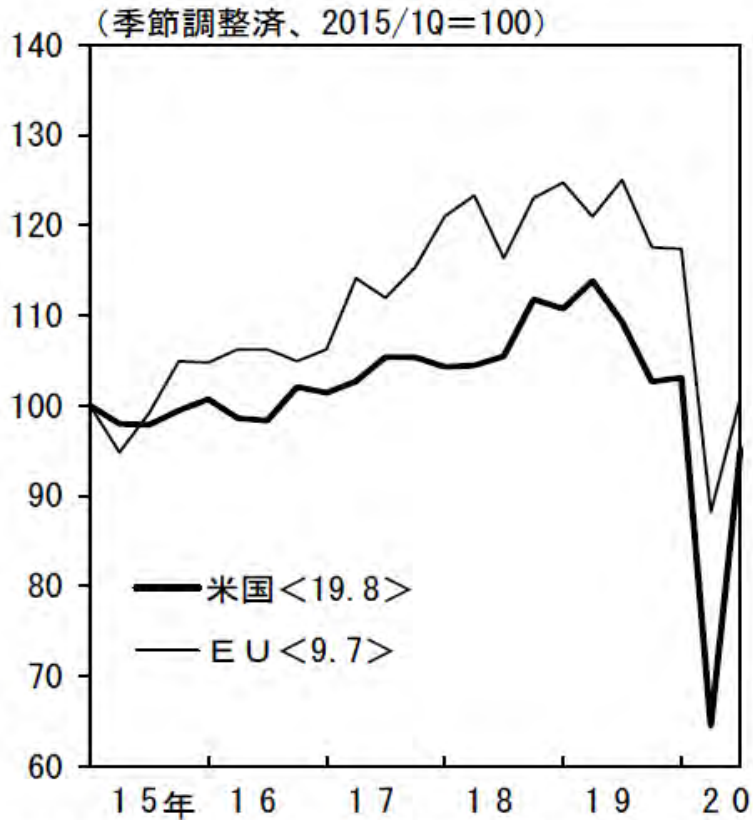
実質輸出入



(注) 実質貿易収支 (対実質GDP比率) の2020/7月以降は、2020/4~6月の実質GDPを用いて算出。

輸出

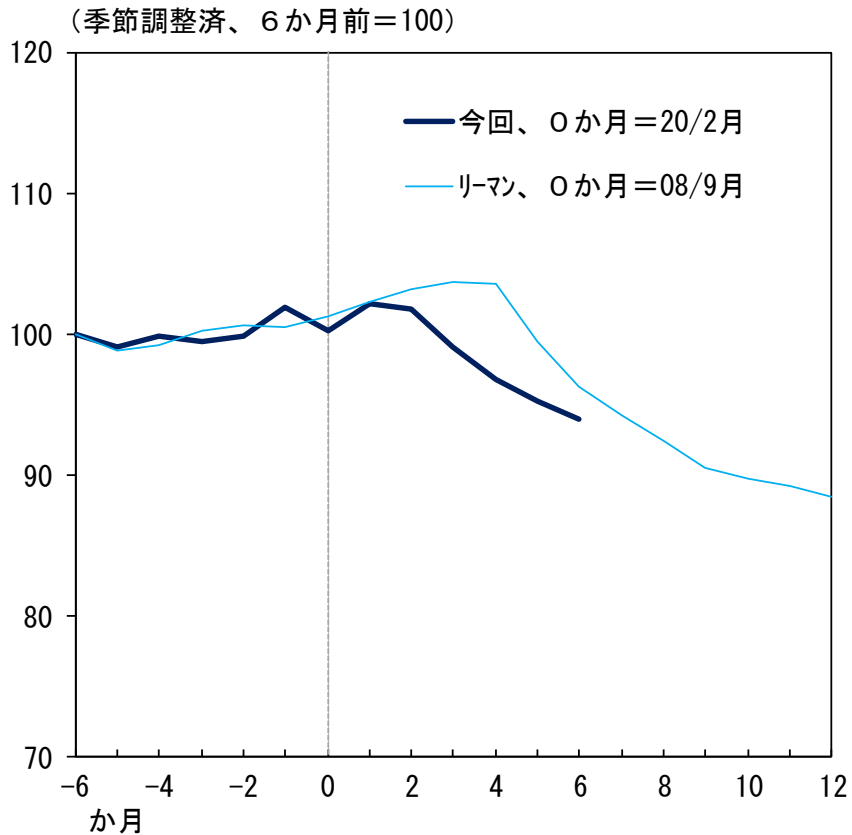
地域別実質輸出



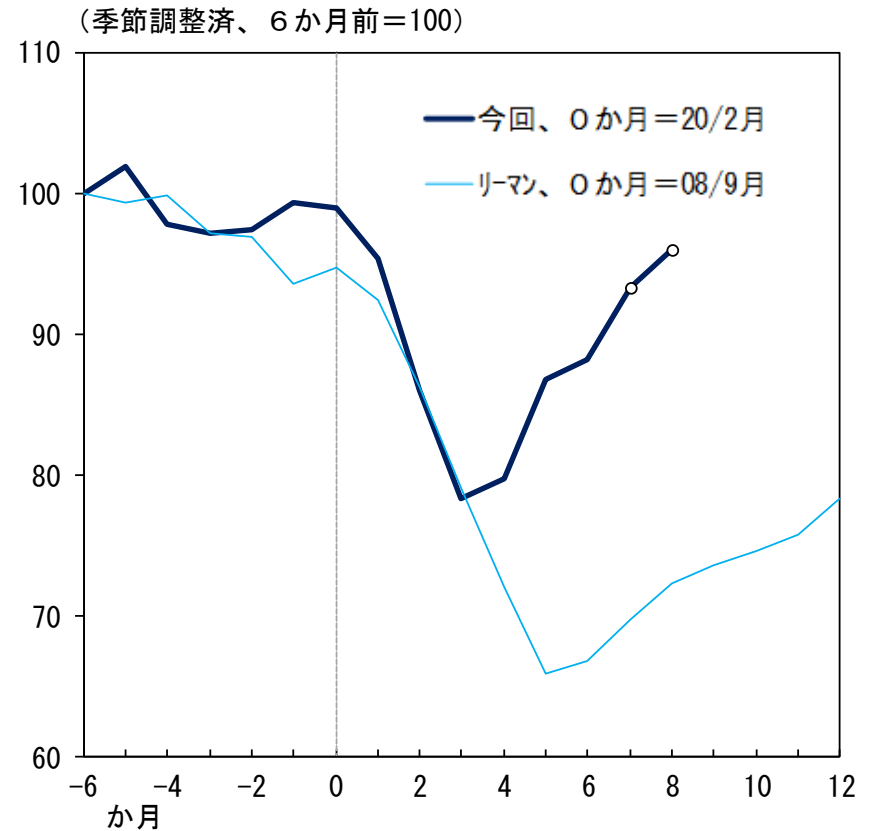
(注) 1. < >内は、2019年通関輸出額に占める各国・地域のウエイト。
2. EUは、全期間において、英国を含まない。

生産・在庫循環の局面比較

(1) IIP在庫レベル



(2) IIP生産レベル

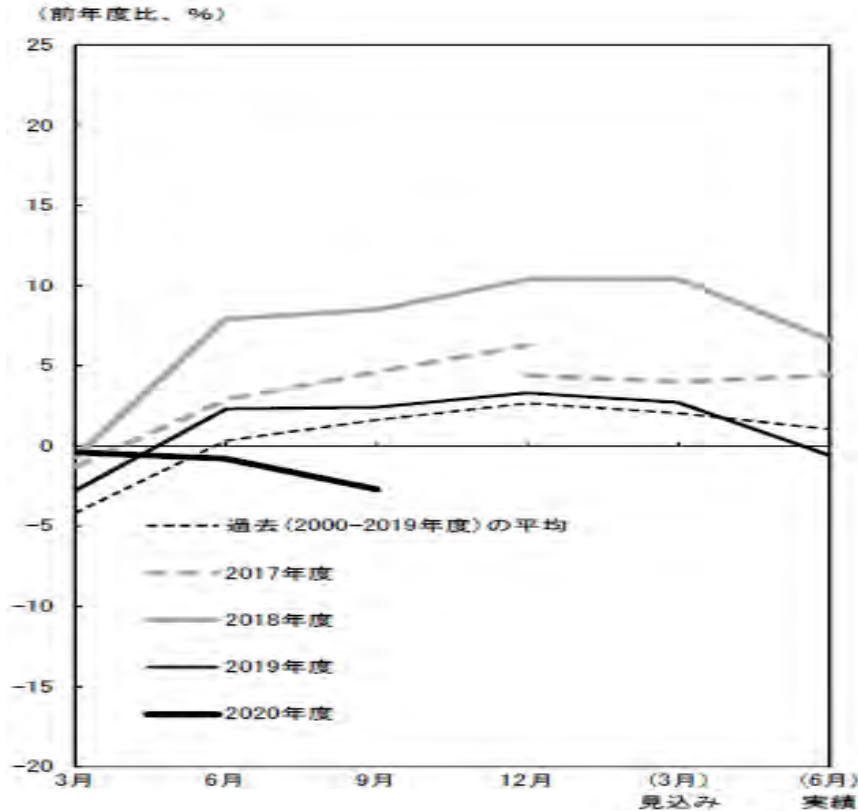


(注) (2) の○は、予測指数を用いて算出。

(出所) 経済産業省

設備投資、個人消費

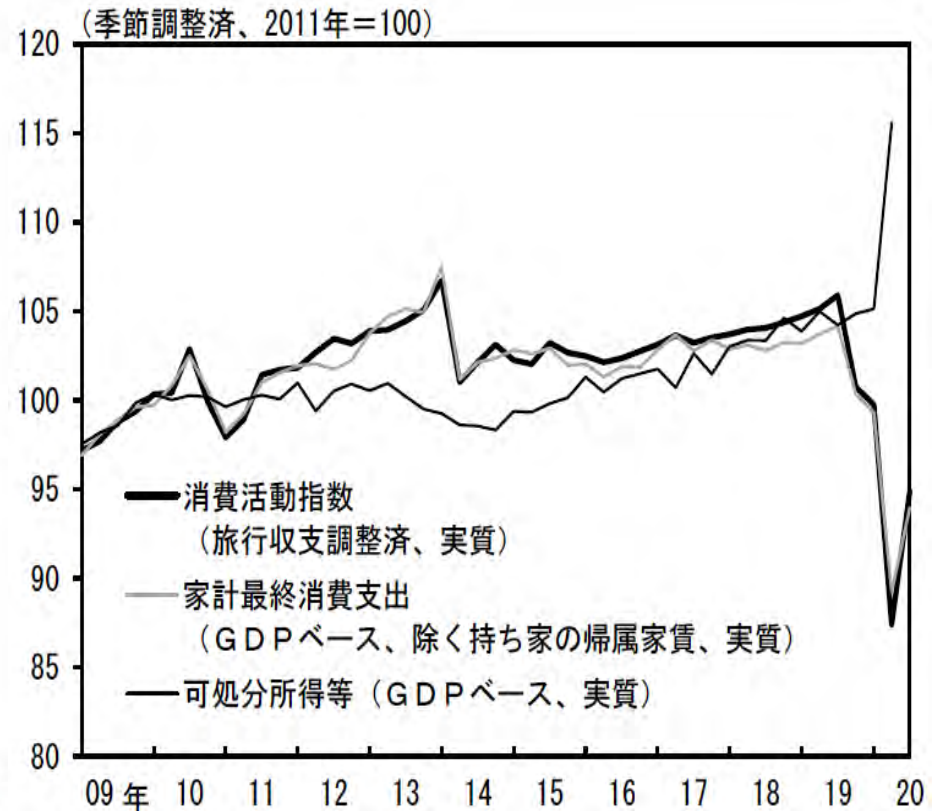
短観の設備投資計画の修正パターン(全産業全規模)



(注) 横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したものの、2017年12月調査には、調査対象企業の見直しによる不連続が生じている。

(出所) 日本銀行、内閣府等

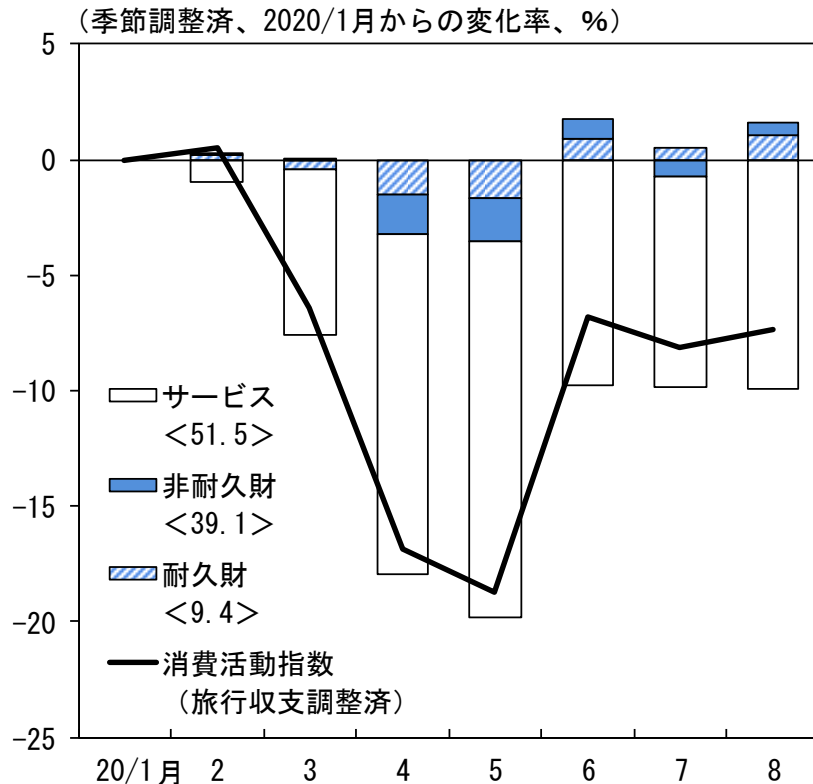
個人消費と賃金



- (注) 1. 消費活動指数(旅行収支調整済)は、除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費(10/15日時点の値)。
 2. 可処分所得等は、可処分所得に年金受給権の変動調整を加えたもの。家計最終消費支出デフレーターを用いて実質化。
 3. 家計最終消費支出の2020/3Qは、消費総合指数(8月までの値)を用いて試算。

個人消費

(1) 消費活動指数の推移(実質)



(2) 消費活動指数

(前年比、%)

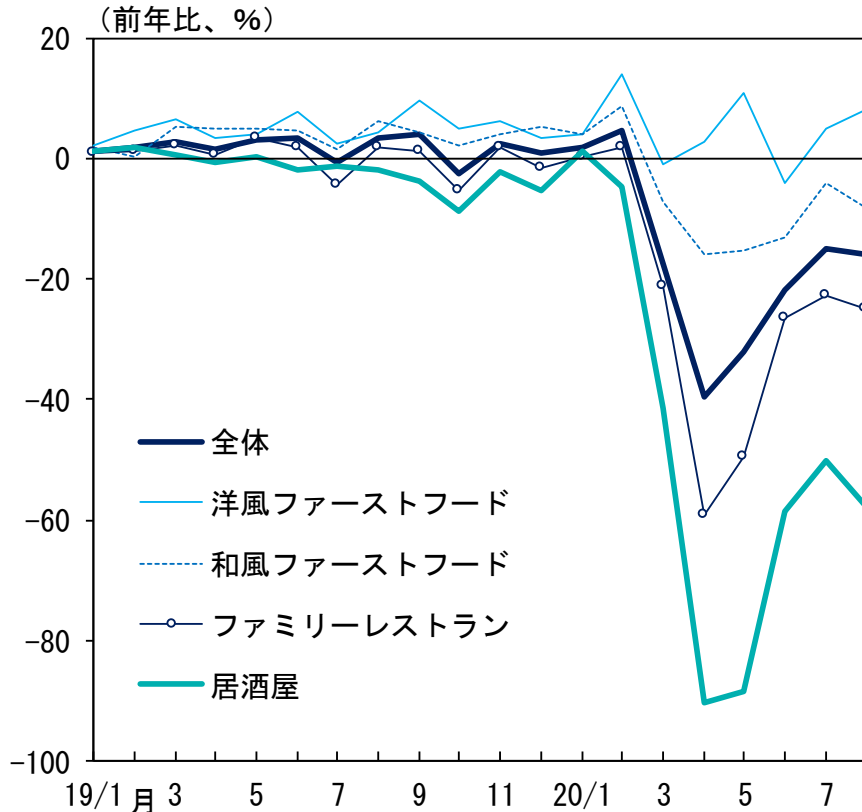
	2020年	4月	5月	6月	7月	8月
消費活動指数 <100.0>	-20.1	-22.2	-11.2	-10.6	-11.2	
耐久財 < 9.4>	-22.5	-24.7	-3.8	-3.8	-4.6	
自動車 < 3.6>	-32.8	-48.0	-26.7	-17.8	-18.1	
家電 < 5.8>	-15.8	-9.0	13.0	6.6	3.5	
非耐久財 < 39.1>	-7.2	-7.1	-0.1	-1.8	-1.1	
飲食料品 < 18.6>	0.1	1.7	2.1	0.9	1.1	
衣料品 < 4.3>	-59.7	-42.3	-9.8	-21.0	-19.3	
サービス < 51.5>	-28.5	-31.6	-20.0	-17.9	-19.4	
外食 < 12.1>	-40.3	-32.9	-22.8	-15.8	-16.9	
娯楽 < 4.7>	-57.4	-59.4	-35.0	-27.5	-27.5	
宿泊 < 1.7>	-79.4	-83.7	-65.9	-51.4	-57.6	

- (注) 1. (1) の消費活動指数 (旅行収支調整済) は、除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費 (日本銀行スタッフ算出)。
 (1) の内訳および (2) は、旅行収支を調整していない。
 2. 非耐久財は、GDP統計において半耐久財に分類される品目を含む。
 3. < >内は、消費活動指数におけるウェイト。

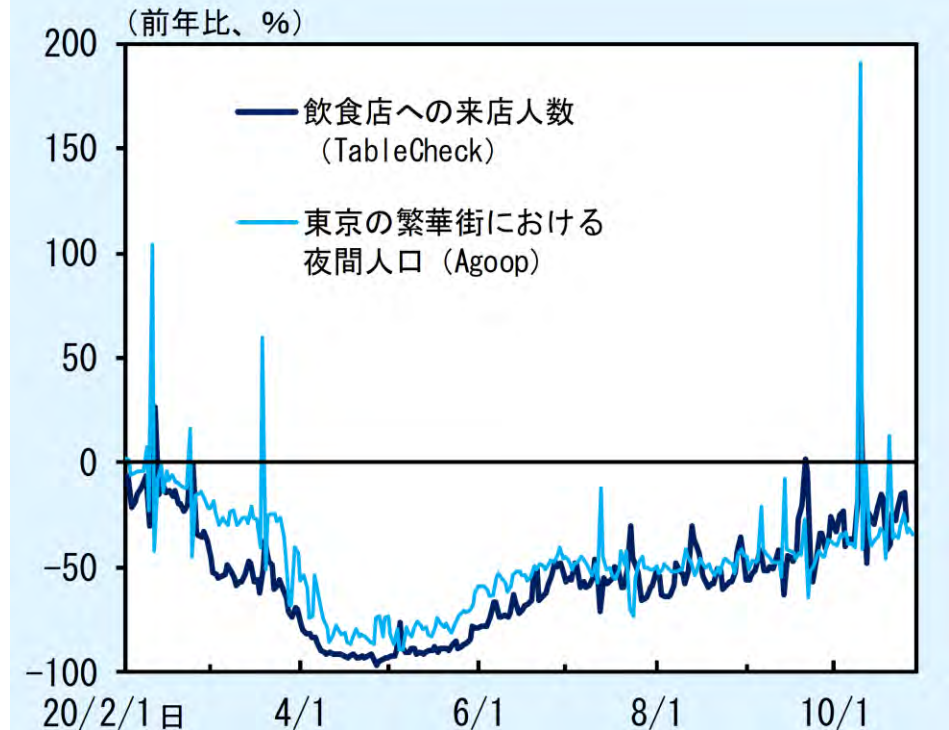
(出所) 日本銀行等

外食

(1) 外食産業売上高(業態別)



(2) 夜間人口と来店件数

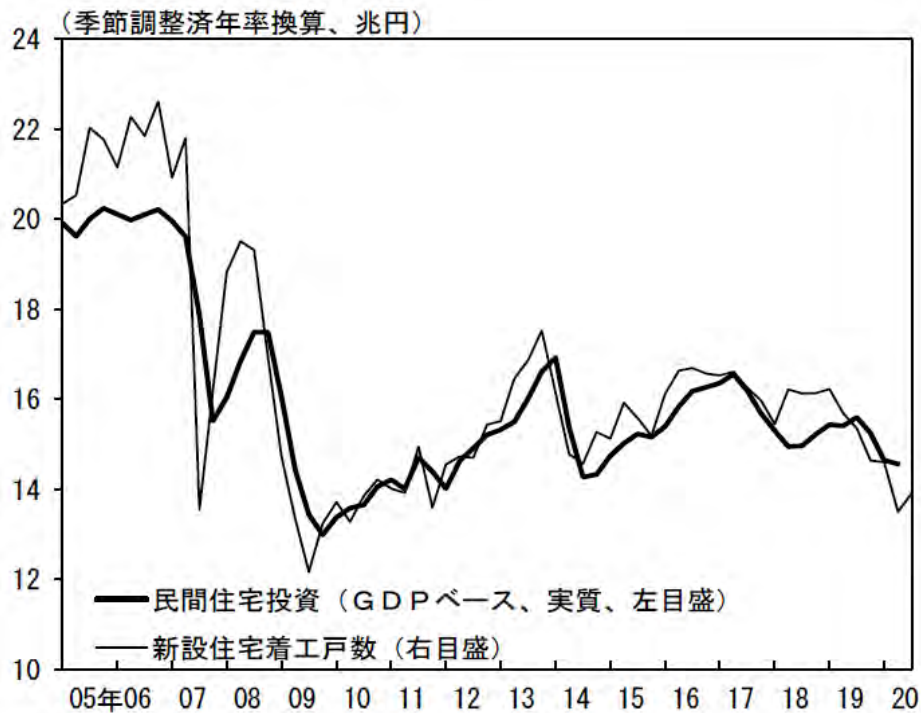


- (注) 1. (2) の飲食店への来店人数は、1店舗当たりの来店人数。集計対象は、TableCheckが提供する飲食店予約顧客管理システムを導入している、約4,800店舗。直近値は、10/26日。
2. (2) の東京の繁華街における夜間人口は、銀座、新宿、六本木各駅を中心とした半径500mの領域における20~24時までの滞在人口。2019年については、各駅を中心とした900m四方の領域のデータを用いて推計した値。直近値は、10/28日。

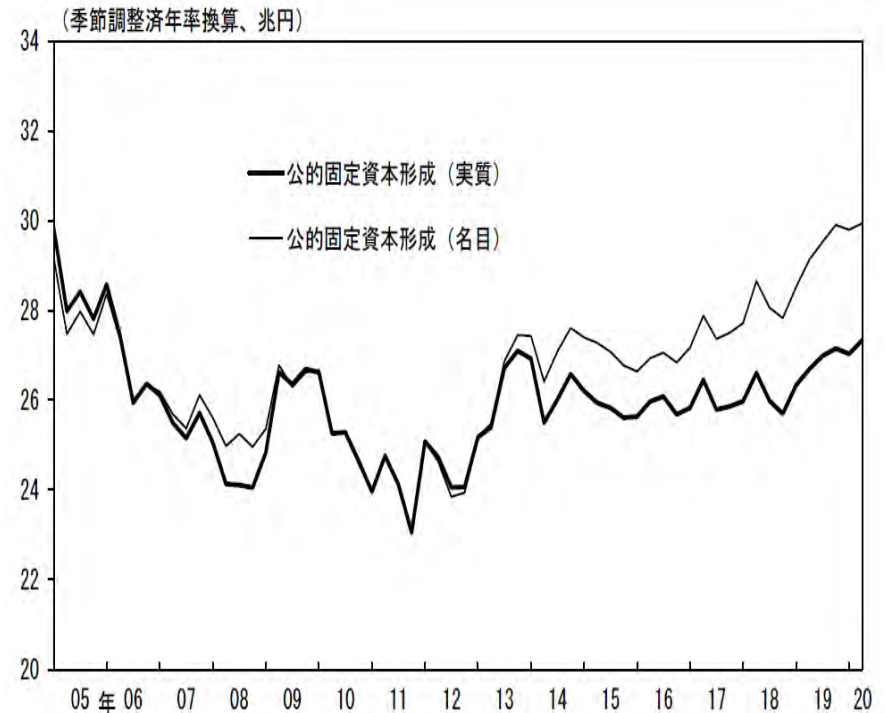
(出所) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」、TableCheck、Agoop

住宅投資、公共投資

住宅投資



公共工事関連指標



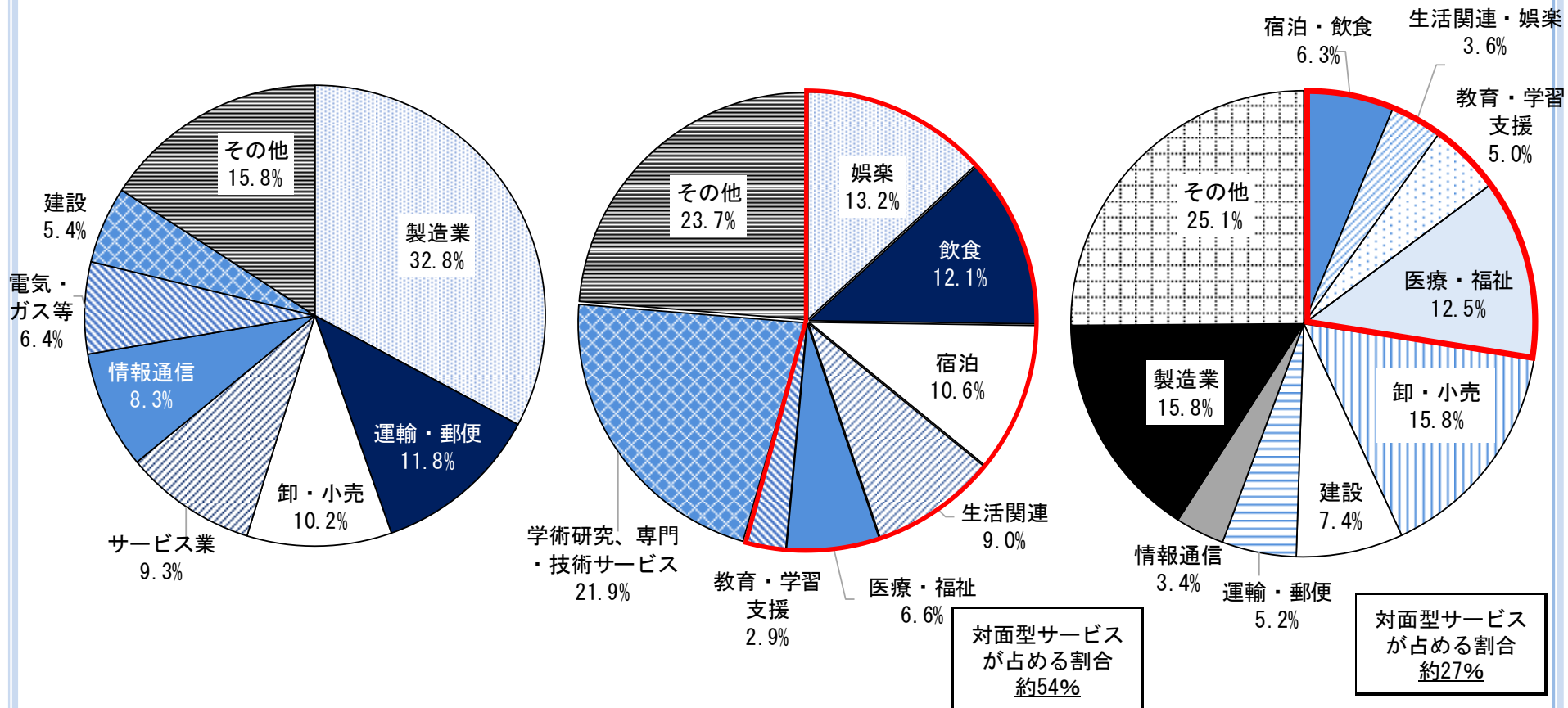
(出所) 内閣府、国土交通省

設備投資と就業者のシェア

(1) 設備投資内訳

(2) 設備投資内訳 (サービス業)

(3) 就業者内訳



- (注) 1. (1)、(2)は、2018年度法人企業統計調査における、ソフトウェアを除く設備投資額を業種別に集計。
 2. (1)「その他」には農林水産業、鉱業、採石業、砂利採取業、不動産業、物品賃貸業が含まれる。
 3. (2)「その他」には職業紹介・労働者派遣業、廃棄物処理業、自動車整備業等が含まれる。
 4. (3)は、就業者全体に占める各産業の比率(2019年平均)。

労働市場調整の局面比較

(1) 産業別の就業者数

(2) 雇用調整助成金の支給額

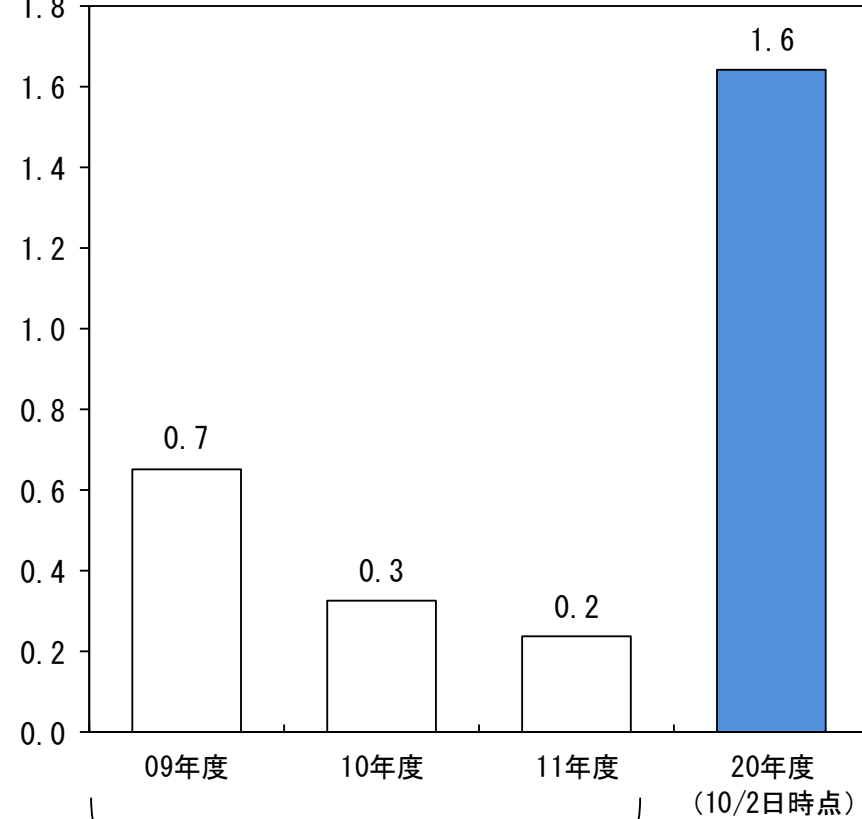
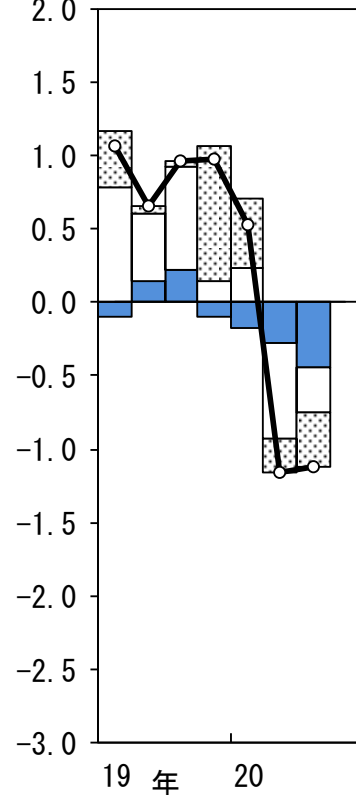
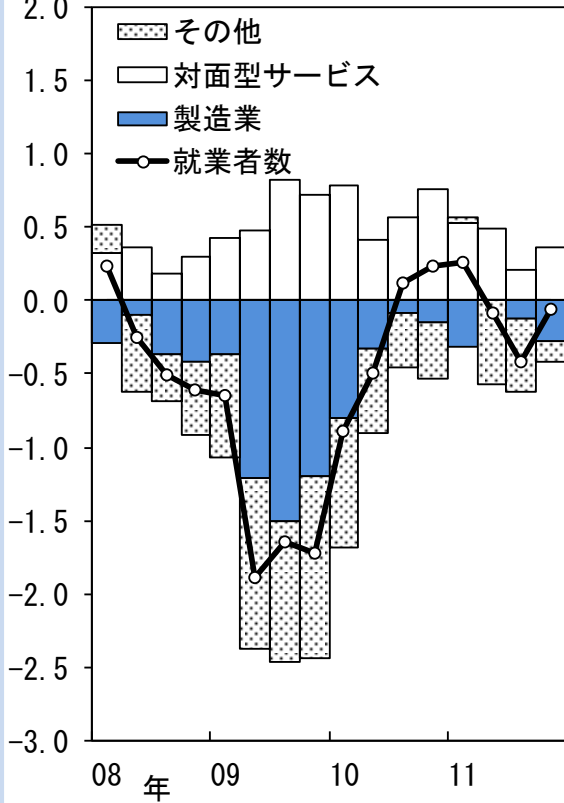
＜リーマンショック＞

＜今次局面＞

(前年比、寄与度、%)

(同左)

(兆円)



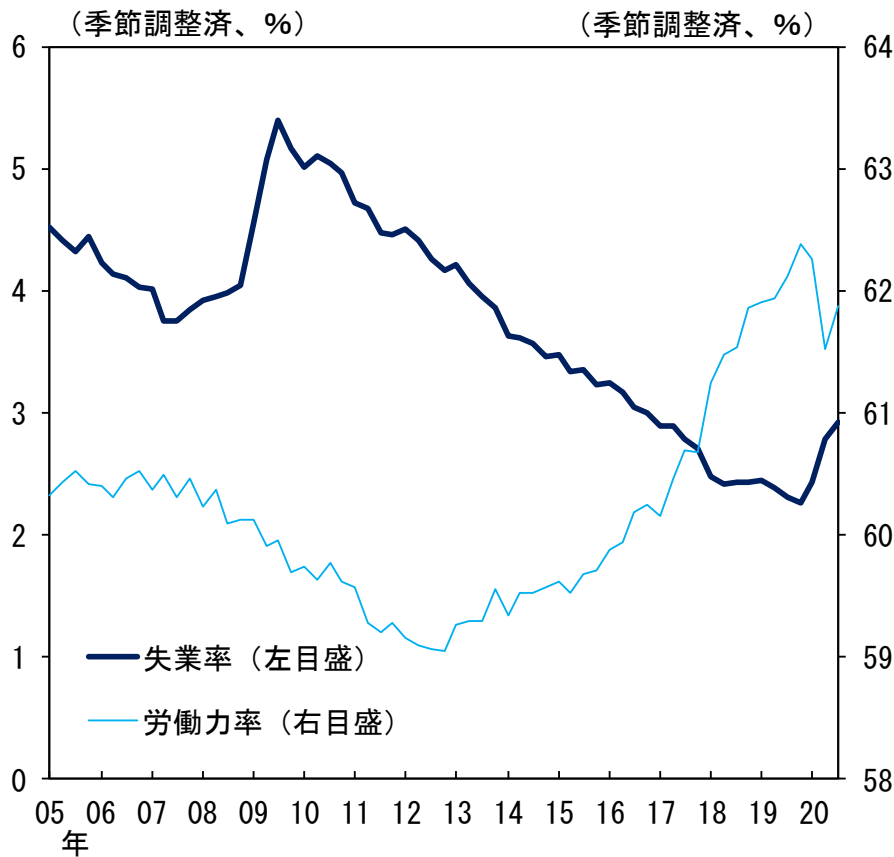
リーマンショック

(注) (1) の対面型サービスは、宿泊・飲食、生活関連・娯楽、教育・学習支援、医療・福祉。2020/3Qは、7~8月の値。

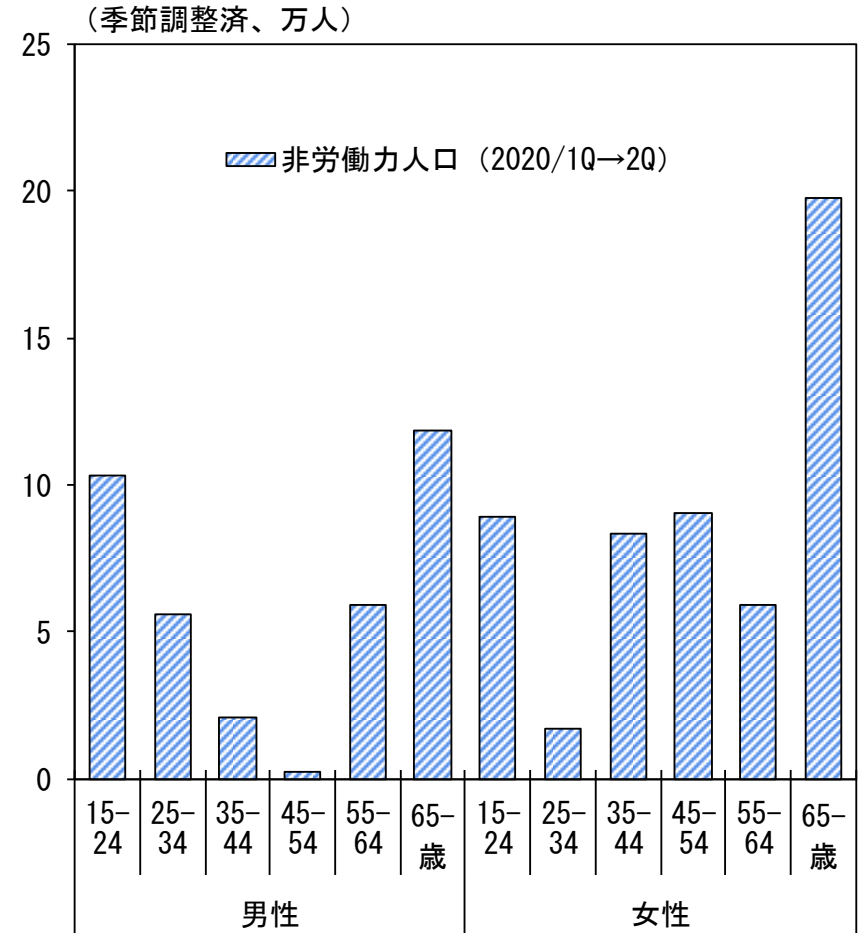
(出所) 総務省、厚生労働省

失業率と非労働力人口の動向

(1) 失業率と労働力率



(2) 非労働力人口の変化幅

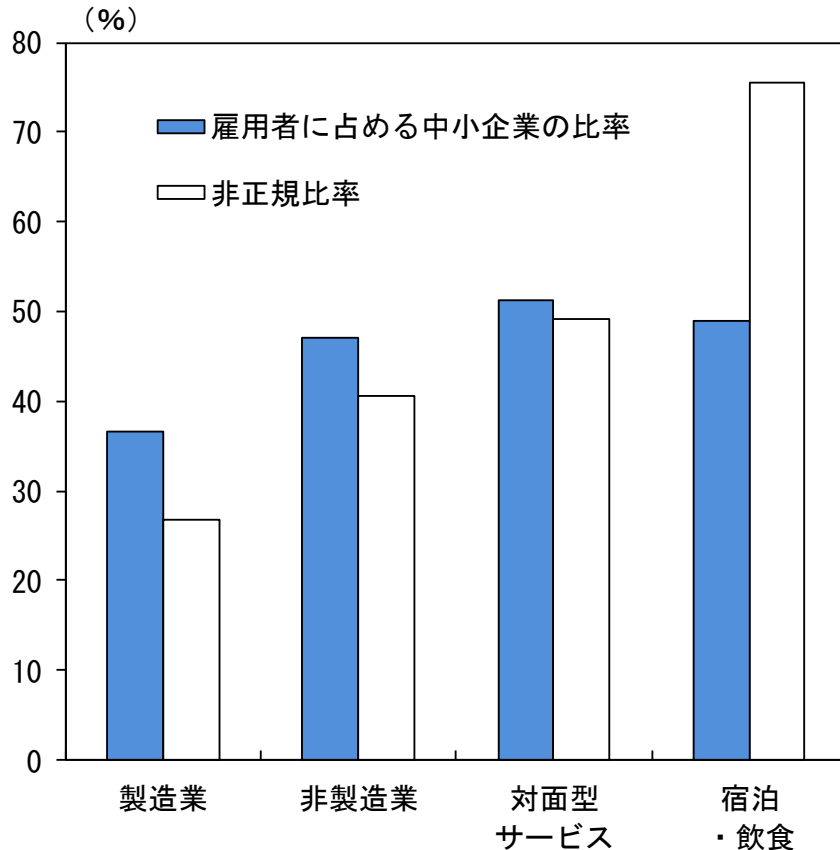


(注) (1) の2020/3Qは、7~8月の値。

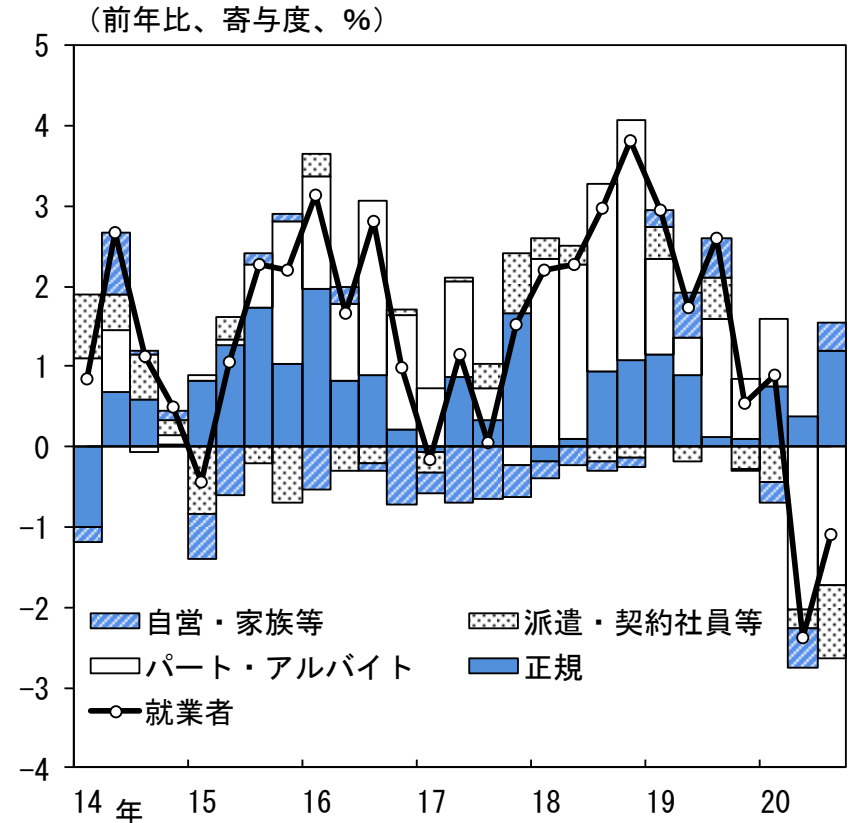
(出所) 総務省

対面型サービスの就業

(1) 中小企業比率・非正規比率



(2) 対面型サービスの就業者数












- (注) 1. 対面型サービスは、宿泊・飲食、生活関連・娯楽、教育・学習支援、医療・福祉。
 2. (1) の中小企業の比率は、従業員規模100人未満の企業に勤める雇用者の比率。非正規比率は、役員を除く雇用者に占める非正規雇用者の比率。2019年平均。
 3. (2) の自営・家族等には役員を含む。2020/3Qは、7~8月の値。

各地域の景気判断

— さくらレポート(10月8日公表)からの抜粋

各地域の景気の総括判断をみると、多くの地域で新型コロナウイルス感染症の影響から「厳しい状態にある」としつつも、経済活動が徐々に再開するもとの、「持ち直しつつある」または「持ち直しの動きがみられる」などとしている。

各地域の景気の総括判断と前回との比較

	【20/7月判断】	前回との比較	【20/10月判断】
北海道	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、大幅に悪化している		新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、経済活動が徐々に再開するもとの、持ち直しつつある
東北	新型コロナウイルス感染症の影響などから、悪化している		厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響などから、大幅に悪化している		下げ止まっているものの、厳しい状態にある
関東甲信越	内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、きわめて厳しい状態にある		内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、経済活動が徐々に再開するもとの、持ち直しつつある
東海	改善に向けた動きがみられ始めているが、厳しい状態にある		厳しい状態が続く中でも、持ち直している
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化した状態が続いている		新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる
中国	新型コロナウイルス感染症の影響から、大幅に悪化したあと、厳しい状態が続いている		新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状態が続いているものの、持ち直しの動きがみられている
四国	新型コロナウイルス感染症の影響から、一段と弱い動きとなっている		新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている
九州・沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響から悪化している		持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状態にある

(注) 前回との比較の「↘」、「↓」は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す(例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは、「↘」)。
 なお、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、「⇒」となる。